

いばらき未来基金 冠助成事業 2016年度花王・ハートポケット倶楽部 地域助成事業

報告書

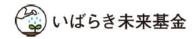
2017年9月

花王・ハートポケット倶楽部

いばらき未来基金運営委員会





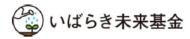


あらゆる人の居場所と出番づくりを応援

2016年度いばらき未来基金冠助成「花王・ハートポケット倶楽部地域助成」募集要項

		詳まが住みやすい地域をつくるために	あらゆる人の民場所と出来を増めすという『茶城県新しい公共						
目的		誰もが住みやすい地域をつくるために、あらゆる人の居場所と出番を増やすという『 <u>茨城県新しい公共</u> 推進指針』に沿った市民活動を応援することで、「茨城の未来づくり」を広げます。							
			E目的とした「ハートポケット倶楽部」会員の皆様から、いばらき						
1月 1月			自由がしていて、イバングー族来る。女人の自体がら、いるらど						
:	主催	花王・ハートポケット倶楽部、花王・							
	画・運営	いばらき未来基金事務局(認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズ)							
	コース	A. 自助グループづくり	B. セーフティネットづくり						
	- ^	A. B. D. N 7 7 7 9	福祉施策・制度による支援が十分に行き届かない方々への、市民						
		課題を抱えた人やその家族などが、	が中心となったセーフティネットづくりの活動。生活困窮者や						
助		仲間を増やしたり、グループを立ち	ひきこもり、依存症のある方、外国とつながる児童生徒、いわゆ						
成	内容	上げたり、課題解決に役立つ活動を	るボーダーにあたる軽度な障がいのある方、その他孤立しがちな						
対		行うなど。	人など、誰にでも居場所と出番がある社会づくりのため、組織を						
泉		13 5/6 0.	超えた交流や新たな連携などの活動。						
活		家族の病気や介護、子育て、仕事	を						
動		などに関する悩みや、震災で故郷を	ひきこもりがちな方への中間就労の機会づくり、「子どもの貧困」						
	例	離れたなど、孤立しがちな人による	に対応するためにひとり親家庭や外国とつながる児童生徒を対象						
		サロン、体験の共有や発信、グルー	とした学習ボランティア、発達障がいのある方のご家族のための						
		プづくりなど	お悩み相談会、虐待やいじめなどを受けた子どもへの支援など						
		_							
助	成金額	5万円/件(最大 1 団体を予定)	15万円/件(最大3団体を予定)						
		生きづらさを感じている人が主体と	活動実績や決算、役員、規約に関する情報を公開することができ						
		なったグループで、活動の実績また	る団体で、活動実績があること。「あらゆる人に居場所と出番を						
		は計画があり、自分たちの課題を	つくる」、「人や地域の絆をつくる」、「協働で地域を良くする」						
申記	青可能な	発信したり、仲間を増やそうとして	など、「新しい公共」の考え方に沿った取り組みの計画を有して						
	団体	いるグループ	いる団体						
		茨城県内で活動を行う、活動情報	限などの発信に積極的な、民間の非営利活動団体(事務所所在地が						
		茨城県内になくても、活動場所が県内であれば申請可能)。							
		● 法人格の有無は問いません。							
		人件費や間接経費も含め、対象経費に	二制限はありません。ただし、助成後の活動の持続可能性は、対象						
対	象経費	経費の配分も含め審査の対象となりま	₹₫。						
		※ 申請する特定の活動に対する助成	※ 申請する特定の活動に対する助成であり、組織への包括的補助ではありません。						
		10/10							
助	成割合	※ 行事参加費などを徴収いただいて構いません。活動の持続可能性を考慮すると、行事参加費は重要							
		です。							
擅	金支援		B定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズによる組織運営支援						
	トの支援	や相談を受けられます。							
		● 専門的な相談内容の場合、相談料							
申	請期間	2016年6月6日(月)~8月7日	3(日) ※ 当日消印有効						

(3) パートポケット倶楽部



	動実施 期間	2016年10月1日(土)~2017	年8月15日 (火)						
		2016年6月3日(金)~		広報開始					
		2016年6月6日(月)~8月7日	助成申請受付						
スケジュー		2016年8月中旬~下旬		第 1 次審査					
		2016年9月上旬		第2次審査					
		2016年9月下旬		助成決定通知					
JI.	(予定)	2016年10月上旬		助成金贈呈式実施、助成金振込					
		2016年10月1日(土)~2017	年8月15日(火)	活動実施					
			7年8月31日(木)のいずれか早い日まで						
			来基金運営委員会が設ける選考委員会にて、別						
遇	考方法		トポケット倶楽部会員数百名による投票。	は十品目にて出土。					
	コース	A. 自助グループづくり	B. セーフティネットづくり						
		① 助成による組織や活動の発展の	① 新たな居場所と出番は増えそうか(多様な	で世代の参加など)					
		可能性	② ボランティアの受け皿になりうるか、組織						
		② 自助活動としての茨城での先駆	③ 同様の活動を行う他の組織に対して、その						
遇		性・必要性	となるか	の取り組のるとブル					
考基		③ 活動の実現可能性	④ 活動の実現可能性						
基	基準	④ 市民にどれほど共感を得られる							
準		か	⑥ 『茨城県新しい公共推進指針』に沿った活	E動が目にかるか					
		● 人の絆の広がりを重視して選考します。							
		▼ 大の計の広がりと重視して送与しよう。・ 花王社員が関われる活動や、空き家や空き店舗など地域資源を活用した活動などを高く評価します。							
		必要に応じ、提出資料の追加や訪		で同く計画しより。					
198	考結果	2 STORES (RELIGION (-B)	Siessa Accendition of the second of the seco						
	知方法	書面により、2016年9月下旬頃通	知						
	成金の	2016年10月上旬頃に、ご指定のE	団体口座に一括で銀行振込を行います。						
	交付	※ 個人口座へのお振込みはできませ							
		ご負担にならない範囲で、活動実	施状況を随時ご報告ください。						
			2017年8月31日(木) のいずれか早い日ま	でに、A4 で 1~2					
活	動報告	ページ程度の書式に、活動写真とともに簡単な報告をいただきます。何を行ったかではなく、どのよ							
		うな成果が生まれたかを重視します。							
		● 領収書コピーの送付などは不要です。							
		以下の書類を、申請窓口まで郵送。							
		① 申請書 < www.ibaraki-mirai.org/news/data/kao2016.doc >よりダウンロード							
		② 最新の事業報告書及び決算書類							
甲	請方法	② 成利の争未報告書及び決弄書類 ③ その他参考となる資料(団体パンフレットや会報、新聞記事など)							
		※ 一般的な助成事業と異なり、審査前のコーディネートを事務局が行います。できれば本申請前に							
		申請書案をぜひ事務局にお送りください。一緒に良い活動企画を練り上げましょう。							
			IPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズ)						
申	請窓口・	担当:大野							
	問い合わ	1	丁目 1 番 39 号 茨城県労働福祉会館 2 階						
	ŧ	a : 029-300-4321	FAX: 029-300-4320						
	irai.org								
			ウェブサイト: http://www.ibaraki-m 城 NPO センター・コモンズの個人情報保護方式						
1	崩考	の運営及び関連するご連絡のみに							
			どには、必ず本助成事業からの助成である旨、	記載してください。					
		THE PERSON AND ADDRESS OF THE POPULATION OF							

いばらき未来基金 冠助成事業 2016 年度 花王・ハートポケット倶楽部「地域助成」事業 報告書

助成対象となった事業

助 成 コース	事業名	事業概要	団体名	代表者 役職名	代表者	助成 金額
A. 自助グ ループづ くり	マタニティ&あかちゃんサロン	妊婦対象のサロンや、あか ちゃんとその家族対象のサ ロンの開催など	あっとまま	代表	古山 みのり	5万円
	産前産後で結ぶ位さしさの伝承産後デイサービスのプレ施事業(地域の産後行及びヒアリング調査デイサービス)		NPO 法人 kosodate はぐ はぐ	代表理事	前島 朋子	15万円
B. セーフ ティネッ トづくり	インクルーシブ 教育の実現を目 指して	教育プログラムの体験ワークショップの開催及び映画 上映会の開催	NPO 法人 こど もの育ちサポー トステーション	代表理事	大山 吐志	15万円
	双葉台における 学習支援プロジ ェクト	学習支援や居場所づくり、 他地域での事業立ち上げ支 援、ネットワークづくり	茨城大学学生団 体「学びと交流 の秘密基地」	代表	小松 舞美	15万円







2016年度いばらき未来基金冠助成プログラム 「花王・ハートポケット倶楽部 地域助成」事業報告書

事業名	マタニティ & O 歳あかちゃんサロン
申請コース (いずれかに O を記入)	A. 自助グループづくり(O) B. セーフティネットづくり
団体名	あっとまま
実施内容	○マタニティサロン(計8回実施・参加者40人(スタッフ含む)) 毎回2~3名の参加者とスタッフが集まり、おしゃべりを楽しみました。 ○○ 歳あかちゃんサロン(計8回実施・参加者217人(スタッフ含む)) 絵本・パティシエ・美容師・バルーン・カイロプラクティック・ヨガといった多様な講師をお招きし、たくさんのあかちゃんとママに参加してもらうことができた。
	〇その他 あっとカフェ(3回)、あっとまま 1 周年イベント、あっとままランチ(各1回ずつ)などを開催。(※茨城県社会福祉協議会からも「サロン助成」をいただいての開催。)
申請書に記載した 「目標」に対する実施 「結果」	活動の周知を広め、会員を募り、自主財源で継続できる組織作りを目指していたが、当初の目標どおり、20名の方に会員になっていただくことができた。また、HPやFBの閲覧数も上昇しており、活動の認知度は確実に高まっていると考えられる。現在も数名の方から会員希望の問い合わせがきており、今後は助成金に頼ることなく、自主財源で無理のない活動を継続できる見込みである。
申請書に記載した 「目的」に対する 「成果」や地域社会 へのインパクト	産前から産後にかけての継続したサポートを目的として活動を開始。マタニティサロンから参加し、産後も引き続き O 歳あかちゃんサロンに参加してくれている方が 3 名。そのうち全員が、産後のケアを希望され、自宅で赤ちゃんを沐浴したり、事務所でママの体調不良時にあかちゃんを預かるなど、サロンだけにとどまらない、スタッフと親密かつ良好な関係を保つまでに活動の幅が広がった。また、水戸市の子育て支援センターから出張サロンの依頼があったり、2017年には水戸市と協働事業を開催するなど、活動の重要性が広く認知され、地域社会に必要とされている団体に発展させることができた。

申請書に記載した	O 歳に限定していながらも、行政の「子育て広場」といった居場所づくり
ように、市民の新たな	では考えられない人数の方が参加している。また、実際に「講師をしたい」
「居場所」や「出番」	というお母さんからの申し出もあるなど、居場所だけでなく、"子育て中で
をつくることにつな	も誰かのために役に立てる"という自信を持てる場所になっていると考え
がりましたか?	られる。
	会員になってくれたお母さん同士で、新たなネットワークである「ちょっ
	とまま」を始動。母親の緊急時に、登録した「ちょっとまま」で赤ちゃん
事業実施後の展望や	を一時的に預かる仕組みで、既に 12 名の方が登録。今後、産後うつなど
新たに見えてきた	の不安を抱えたお母さんを、同じ子育て中のお母さんがサポートするとい
地域課題	う、新しい助け合いのスタイルを築いていきたい。
	課題は、妊婦さんに情報を届けるのが非常に困難であるという点。今後、
	産婦人科や行政と連携し、更なる活動の周知とサポートを続けていきたい。
	いただいた助成金で活動を開始することができ、また、その活動を軌道に
花王・ハートポケット	乗せることができました。大変感謝しております。これからも、「ありがと
倶楽部へ一言	う」と「お互いさま」の気持ちを大切に、小規模ながらも、お母さんやあ
(大田) · ()	かちゃんに寄り添った活動を続けていけたらと思います。
	A. 目標を超える成果を得ることができた
自己評価	B. ほぼ目標どおりの結果となった(O)
(いずれかに 〇 を記入)	C. 残念ながら目標を達成できなかった
	D. その他 ()

2016年度いばらき未来基金冠助成プログラム 「花王・ハートポケット倶楽部 地域助成」決算書

事業名:マタニティ&0歳あかちゃんサロン

区分	科目		内容	単価	×	人数• 回数	=	金額	計
	受耳	D 助成金等	地域助成	¥50,000	×	1 式	=	¥50,000	¥50,000
		受取会費		¥500	×	20 人	=	¥10,000	
収益	自主 財源	受取寄附金		¥6,500	×	1 式		¥6,500	¥16,500
	経常収益計							¥66,500	¥66,500
	諸謝金		講師	¥1,500	×	7 人	=	¥10,500	¥10,500
	旅費交通費		スタッフ	¥5,362	×	1 式	=	¥5,362	¥5,362
費用	印刷製本費		チラシ	¥32,400	×	1 式	=	¥32,400	¥32,400
員用	通信運搬費		切手	¥82	×	20 枚	=	¥1,640	¥1,640
	消耗品費		寝具・ラグなど	¥18,390	×	1 式	=	¥18,390	¥18,390
	経	常費用計						¥68,292	¥68,292
当期経常 増減額								¥-1,792	¥−1,792

マタニティサロン&0歳あかちゃんサロン 活動写真















妊娠中と産後のママをサポート。

妊娠中ママの気軽なおしゃべりの集い





| 主な内容

毎月第1月曜日 ☆都合によりお休みもあります。

ホームベージにてご確認下さい。

ベーカリーカフェ オランダ館(水戸市笠原町108-4)

10:30 ~ 11:30 時間

妊娠中の方(お子さんと一緒の参加もOK) 対象

無料(飲食をされる方は別途料金がかかります) 参加書

内容 おしゃべりを楽しみます。

参加希望2日前までにお問い合わせフォームから 申込み

お申込み下さい。

妊娠おめでとうございます。

やっとつわりが終わったと思ったら、今度は体重管理に健康管理。 大きいお腹は疲れやすいし動きにくいし、妊婦って思っていたよりずっと大変。 でも、産後はもっと大変かも!今からできる、あかちゃんを迎える心の準備。 妊娠中のこと、産後のこと、気軽におしゃべりしませんか。

主な内容

開催 ○ 毎月第3月曜日 ☆都合によりお休みもあります。

日程及び講座内容 ○ ホームベージにてご確認下さい。

児童館ふれあいの館(水戸市平須町1824-243)

o 10:00 ~ 11:30

0歳あかちゃんと保護者(上のお子さんも参加可)・妊娠中の方 対象

参加費

① 10:30~11:00 /講座

② その他の時間はおしゃべりを楽しみます。

申込み 🗘 申込み不要。お気軽にご参加下さい。

「あかちゃんが泣いてばかりでつらい」 「抱っこ抱っこで何もできない」 そんなママ・ババが、あかちゃんを連れて 気軽におしゃべりしたり情報交換ができる場所です。 ぜひスタッフにも、あかちゃんを抱っこさせてくださいね。



あっとまま公式ホームページ/ PC・スマートフォン・タブレット対応 \ お問い合わせフォームはこちらから /



http://atmama.jimdo.com



員特典

あっとままでは随時会員を募集しています。 年会費500円(一世帯)

絡下さい。入会申込書をご記入いただきま ただきます。

■ お貸しします

ー定期間しか使わない物、1回しか使わな ベビー服のリサイクル品を差し上げます。 入会を希望される方は、サロンにお越しい ンサー/歩行器/ベビーゲート/ベビーサ をお持ち帰りください。 ただくか、お問い合わせフォームからご連 ークル/テーブルに取り付けられる椅子/ オモチャ(トミカシリーズ・ブラレールなど) すので、その際に詳しいご説明をさせてい /絵本/キッズテント/ドレス(結婚式用) /黒い靴(式典用)etc

■ 差し上げます

い物、買う前に試してみたい物などお貸し 前もってサイズ等ご連絡していただき、あ します。授乳クッション/抱っこ紐/パウ かちゃんサロン当日に会場でお好きなもの





スタッフ&講師募集

一緒にサロンを盛り上げてくださる方を募集して います。おしゃべりが好きな方、子育てに関する お話ができる方など、あっとままの活動に興味の ある方は、ぜひ、お問い合わせフォーム又はメー ルにてご連絡下さい。

E-mail:atmama77@yahoo.co.jp

ご寄付のお願い

あっとままは、子育て中のママたちのボランティ アグループです。活動を継続させるために、私た ちにみなさまの力をお貸しください。 ご寄付の金額はおいくらでも結構です。 ご協力いただける方はお問い合わせフォームより

ご連絡下さい。

2016年度いばらき未来基金冠助成プログラム 「花王・ハートポケット倶楽部 地域助成」事業報告書

事業名	産前産後で結ぶやさしさの伝承事業(地域の産後デイサービス)
 申請コース	A. セーフティネットづくり
団体名	特定非営利活動法人 kosodate はぐはぐ
実施内容	ママの休養を目的としたデイサービス 毎週木曜日 10:00~16:00 (要事前申し込み) 内容: ・赤ちゃんのお預かり ・昼食、おやつ付 ☆オプションで、助産師及び鍼灸師のケアあり 費用:実費の一割負担 ☆人との会話や食事が心身を元気にすると考え、地域住民の協力により地 元野菜を中心に手作りの食事を用意した。 →産後デイサービス利用者以外の来所したママ達に、ランチを提供した。
申請書に記載した 「目標」に対する実施 「結果」	本来の目的である、産後デイサービスは利用実績なしという残念な結果になってしまったが、デイサービス以外の目的で訪れた利用者にカフェを通じたケアサービスを行なった。その中で、当初の企画時には見えてこなかった利用者のニーズを再確認し、利用者の立場にたったサービスを行った。また、一連の事業を通じて衣食住を共にする事、顔と顔をあわせたつきあいが、ひとの心を温かくし、良い子育て環境を作るのではないかと改めて痛感した。今後も模索しながら、私達の考える居場所づくり、地域づくりに少しでも寄与していきたい。今回の事業実施内容については、つくば市の担当部署に今後の産後ケアのありかたについて、今回の結果を反映できるように提言できました。
申請書に記載した 「目的」に対する 「成果」や地域社会 へのインパクト 申請書に記載した	近年の核家族化や社会的心理的背景から、家族間で産後ケアを受ける事が難しくなっている現状がある。産後の孤立化がその後の育児に影響を及ぼすことから、産後ケアの重要性について、やっと関心がもたれるようになってきた。厚生労働省が平成29年8月に産前産後サポート事業ガイドラインを発表したが、実施は市町村レベルで行われるので当団体が活動している地域でも、まだ検討中といった段階である。当団体がこの分野で活動開始している事が伝わっており、ヒアリングされた際今回の実践による気づきを伝える事ができた。
申請者に記載した ように、市民の新たな	新たに活動に参加してくれる仲間が増えた。(調理スタック・託兄スタック) それをきっかけに、継続的に当団体で活動してくれる事になった。

「居場所」や「出番」 をつくることにつな がりましたか? ~産後デイサービスを利用しづらい理由~ 1. 車社会の地方都市であるこの地域では、実施場所の助産院まで自家用 車やタクシー、バスの利用が必要である。しかし、体調が悪い時に自分で 運転するのが難しい、タクシーを利用すると金銭的負担が大きくなるとい う意見がでた。行政が行っている福祉タクシーや民間タクシー会社との連 携の必要性を感じた。 2. 事前の申し込みが必要であるため、自分のニーズとタイミングが合わ ないという声があった。いつでも利用可とする為には、人件費がかかる。 利用数が多い大規模施設でないと実際の運営が難しいと感じた。 3. 開催日が限られている。2と通じるが、やはり利用者のニーズに合わ 事業実施後の展望や 新たに見えてきた ないと利用しづらい。しかし、毎日開催する為には、場所の確保、人の確 地域課題 保が必要であり、運営者サイドの物理的経済的なハードルが高くなる。 4. 利用者側に、サービスを利用する風土がない。最近、産後ドゥーラと いう職業ができたりして、産後サービスを使う方も出てきているがまだま だ利用者が少ない現状だと聞く。日本の女性の中には、出産という大きな 仕事を成し遂げたという自負心や、サービスを受けてゆったり過ごすのが 当然という気持ちが少ないと感じる。自分の為にお金を使う事や、他人の サポートを受けてゆっくりするなんて…という気持ちが、興味は持ってい るが利用にまで至らない原因なのではないかと考えている。産後の女性が 大切に扱われてしかるべきという、社会の風潮や女性自身の意識改革がで きるまで、もう少し時間がかかるのかもしれない。 花王の社員の方々が応援してくださるこの助成金は、他の助成金と違い応 援いただいてる、力をいただいてると実感できる有難いものでした。大切 花王・ハートポケット なお金をいただいたのに本来の目的が達成できず、申し訳ありませんでし 倶楽部へ一言 た。しかし、自分たちに得たものを、地域に還元できるよう今後も精進し ていきたいと思っています。ありがとうございました。 A. 目標を超える成果を得ることができた B. ほぼ目標どおりの結果となった 自己評価 C. 残念ながら目標を達成できなかった (いずれかに ○ を記入) D. Oその他(本来の目標を達成する事はできなかったが、新たな取り組 みのきっかけ作りになった)

いばらき未来基金 冠助成事業 2016 年度 花王・ハートポケット倶楽部「地域助成」事業 報告書







テーブルと椅子のスタイルではないので、子どもたちを自由に遊ばせながら、食事やおしゃべりを楽しめると好評だった。持ち込み可なので、お子さんの食事を持参する姿も見られた。

区分	科目		内容	単価	×	人数· 回数	=	金額	計	うち助成金 充当額	うち自己資 金充当額
	受耶	以助成金等	地域助成	¥150,000	×	1 式	II	¥150,000	¥150,000		
収益	自主	受取会費	賛助会員会費	¥2,000	×	5 🏻	=	¥10,000	¥12,629		
収益	財源	受取寄附金	役員からの借 り入れ	¥2,629	×	1 回	II	¥2,629	¥12,029		
	経	常収益計						¥162,629	¥162,629		
	諸謝金		講師	¥19,000	×	1	I	¥19,000	¥19,000	¥10,000	¥9,000
	諸謝金		調理スタッフ2名	¥84,640	×	1	=	¥84,640	¥84,640	¥84,640	¥0
	旅費交通費		調理スタッフ2名 1 人当たり300円×13 回	¥7,800	×	1		¥7,800	¥7,800	¥7,800	¥0
費用	印刷製本費		コピー用紙、プリンタインク代	¥10,515	×	1 式	II	¥10,515	¥10,515	¥10,515	¥0
貝川	通信運搬費		チラシ郵送	¥1,148	×	1		¥1,148	¥1,148	¥1,148	¥0
	給食材料費		試食会用	¥23,107	×	1	=	¥23,107	¥23,107	¥22,560	¥547
	消耗品費		キッチンツール、食器代	¥16,419	×	1 式	=	¥16,419	¥16,419	¥13,337	¥3,082
	経常費用計							¥162,629	¥162,629	¥150,000	¥12,629
当期経常 増減額								¥0	¥0		

花王ハートポケット倶楽部地域助成金事業

NPO法人kosodateはぐはぐ



☆赤ちゃんが寝ない、 置けない! 疲れがたまったママ、 子育てにお悩みのママ

に最適です。

☆ご希望に合わせて ケアが受けられます (詳細は裏面をご覧く ださい)



助産師と

地域のサポーターがお手伝いします!

朝から夜まで赤ちゃんと二人っきり。

その上、まだ完全に回復していないカラダで、慣れない「授 乳」「赤ちゃんのお世話」「家事」もしなくてはなりません。

一人で頑張りすぎないで、たまにはホッと一息つきません か? ママも優しくされないと笑顔になれない・・・

ママの笑顔が赤ちゃんと家族の笑顔につながります。

お試し期間です。 通常20.000円のと ころを、1割負担でご 利用いただけます。

1日限定2組様 (要予約・先着順)

・産後0~6カ月後の母子。 それ以外の兄弟を連れての 利用は不可。

☆赤ちゃんをスタッフが お預かりいたします!

基本メニュー

期日: 2017/3/30から毎週木曜日

先着12名さま

- ●10:00 来院
- ●10:00~10:30 助産師の育児相談タイム

相談後お部屋に移動して、ご自由にお過ごしください

- ●12:00 昼食
- ●15:00 おやつ
- ●16:00帰宅

(税抜) 2,000

助産師によるケア・沐浴などもプラスできます(別料金)!!

☆お野菜たっぷりの お食事をご用意して います!



NPO法人 kosodate(はぐ)

住所:〒305-0035 茨城県つくば市松代4-10-12/電話:029-856-6658

【お申込み・お問い合わせ】

kosodate.hughug@gmail.com



一日の過ごし方の例:



☆基本コース

・・・とにかく休みたい方、誰かとお話したい方、ゆっくりご飯を食べたい方向け

スタッフがお子様をお預かりして、休養をとっていただけます!

☆基本コース+相談(3,000円)

・・・母乳育児を軌道にのせたい方(授乳時痛みがある、吸い付くのに時間がかかる等)

助産師が滞在中の授乳時にサポートさせていただきます。 滞在中何回か実践できると、自宅での成功率が格段にUP!

・・・沐浴の方法がわからない等育児の方法でお悩みの方

助産師がご自宅の状況にあった方法をご提案します。

···ミルクの足し方がわからない

助産師が体重、授乳量をチェックして具体的な方法をご提案いたします。

・・・骨盤を支える方法が知りたい。体形をもどしたい

助産師が骨盤の正しい固定方法や産後の姿勢の整え方をお伝えいたします。

☆基本コース+ケア(6,000円)

・・・授乳中乳房トラブルを起こしやすい方、現在トラブルを感じている方

助産師が丁寧にケアをさせていただきます。 再発防止の為のアドバイスをいたします。

・・・イライラ、良く眠れないなど

助産師がリラックスの為のケアをさせていただきます。

☆上記の他腰痛などで辛い方には、基本コース+4000円で鍼灸治療が受けられます





2016年度いばらき未来基金冠助成プログラム 「花王・ハートポケット倶楽部 地域助成」事業報告書

事業名	インクルーシブ教育の実現を目指して
申請コース (いずれかに O を記入)	A. 自助グループづくり ® セーフティネットづくり
団体名	特定非営利活動法人こどもの育ちサポートステーション
実施内容	(1)「フォイヤーシュタイン教育プログラム」体験ワークショップの開催 第1回 2016年 9月11日 第2回 2016年10月 2日 第3回 2016年12月11日 第4回 2017年 2月26日 第5回 2017年 4月 2日 第6回 2017年 6月18日 第7回 2017年 7月 9日 (2)「フォイヤーシュタイン教育プログラム」学習会の開催 第1回 2016年10月 2日 第2回 2016年12月11日 (3)ドキュメンタリー映画『みんなの学校』上映会 2017年7月20日開催
申請書に記載した 「目標」に対する実施 「結果」	2 年間にわたり「フォイヤーシュタイン教育プログラム」の体験ワークショップと学習会の開催に助成をいただき、このプログロムの良さを参加した子どもたちや保護者には理解してもらえたと思います。 「インクルーシブ教育」についてはドキュメンタリー映画『みんなの学校』の上映により、300 名近くの教育関係者や保護者、子どもたちが参加してくれました。教育界のシステムや予算など乗り越えなくてはならない課題もありますが、教育長さんをはじめ上映会に参加してくださった学校の先生方もインクルーシブ教育の必要性はしっかり理解してくださったようです。
申請書に記載した 「目的」に対する 「成果」や地域社会 へのインパクト	このプログラムを更に拡めるため、2017年3月に指導者の資格取得のための講習会を開催しました。6日間の講習会でしたが、全国から13名の参加者が集まり、とても活発な講習会が開催できました。その後、5回目、6回目、7回目にはこの講習会で資格を取得した関東地区の新しい指導者が加わり、参加した子どもたちは手厚い指導を受けるこ

	とができました。
	また、ミニコミ誌でも一面に取り上げていただくなどの動きもあり、完全
	不登校の中学生や小学1年生の言葉の教室に通っている子どもたちなど、
	新しい参加者が増え続けています。
申請書に記載した	学校には行けないけどここには来ることのできる子、中学3年生で高校進
ように、市民の新たな	学など学校では全く無理と言われていた子が夏休み前から受験に向けて学
「居場所」や「出番」	習を頑張り始めた子、指導者講習会を受けてこのプログラムの導入をいろ
をつくることにつな	いろな場面で始めた人たち・・・。予想しなかったような「居場所」や「出
がりましたか?	番」が出来てきたように思います。
	「フォイヤーシュタイン教育プログラム」に関しては、徐々に参加者が増
事業実施後の展望や	え、指導者が不足してきています。このプログラムは少人数で行うことが
新たに見えてきた	理想であり、今後はもっと指導者の養成を行っていかなくてはいけない状
地域課題	態です。現在横浜から先生をお呼びしての開催ですが、今後継続していく
	ためには地元での指導者を養成していきたいと思います。
	この助成を2年間受けることができ、フォイヤーシュタイン教育プログラ
	ムというまだあまり知られていないプログラムを取り入れた教室の開催が
	毎月できるようになりました。これも花王・ハートポケット倶楽部の皆様
花王・ハートポケット	のお力添えのおかげと感謝しております。今後は更に地元での指導者を養
倶楽部へ一言	成し、発達凸凹の子どもたちも『みんなの学校』のように普通学級の中に
	自分の居場所をしっかりと持つことができるような教育社会つくりの一助
	になれることを目指していきます。
	日標を超える成果を得ることができた
自己評価	B. ほぼ目標どおりの結果となった
(いずれかに 〇 を記入)	C. 残念ながら目標を達成できなかった
	D. その他()
自己評価でCを記入	
された場合、その理由	
>* +99 a + + + + + + + + = + :	ラブルただいて仕掛ですが、今はで 0 00 ごかけ となる とう ご可慮 / ださい

- ※ 欄の大きさは自由に変えていただいて結構ですが、全体で2ページ以内となるようご配慮ください。
- ※ 活動の様子がわかる写真数枚のデータをご送付ください。
- ※ その他必要に応じて補足書類をご提出ください。

2016年度いばらき未来基金冠助成プログラム 「花王・ハートポケット倶楽部 地域助成」決算書

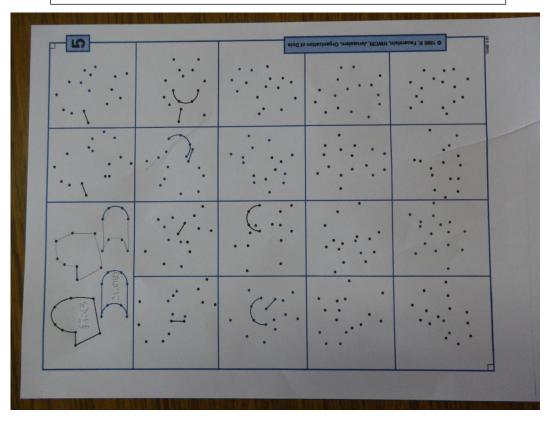
事業名: インクルーシブ教育の実現を目指して

区分	科目	内容	単価	×	人数· 回数	=	金額	計	うち助成 金充当額	うち自己資 金充当額
収益	受取助成金等	地域助成	¥150,000	×	1 式	=	¥150,000	¥150,000		
	内土B-20 事类(n+)	参加費	¥1,000	×	25 人	=	¥25,000	¥70,000		
	自主財源 事業収益	参加費	¥500	×	90 人	=	¥45,000	¥ 70,000		
	経常収益計						¥220,000	¥220,000		
	諸謝金	講師	¥12,000	×	7 📵	=	¥84,000	¥84,000	¥60,000	¥24,000
		講師	¥15,000	×	2 🛭	=	¥30,000	¥30,000	¥0	¥30,000
費用	旅費交通費	講師	¥8,000	×	7 📵	=	¥56,000	¥56,000	¥30,000	¥26,000
	賃借料	映画「みんなの学校」 ブルーレイディスク	¥60,000	×	1 式	=	¥60,000	¥60,000	¥60,000	¥0
	経常費用計						¥230,000	¥230,000	¥150,000	¥80,000
当期経常 増減額							¥-10,000	¥-10,000		

「フォイヤーシュタイン教育プログラム」学習会の様子 2016.12.11



「フォイヤーシュタイン教育プログラム」IE-1 点群の教材



「フォイヤーシュタイン教育プログラム」体験ワークショップの様子 2017.6.18





人とのコミュニケーションがうまくとれなくて困っている子どもとその保護者のための

みんな いい 2017

発達の凸凹が顕著で友達の輪の中でうまくやっていけない子どもたちが、生きぬく力を育てるためのサポート をする教室です。同じような悩みを持つ保護者同士のネットワークづくいもできます!

今回はフォイヤーシュタイン教育プログラムとソーシャルスキルトレーニングを組み合わせた教室です。 どちらも子どもたちの成長を促すプログラムで、子どもたちが自分で考えて判断し、行動できる人間に成長 していくことを目標に定期的に開催するプログラムです。

●3回目 日 時:2017年7月9日(日)

幼児~小学4年生まで 9時30分~10時30分 ソーシャルスキルトレーニング (SST)

11 時~12時 フォイヤーシュタイン教育プログラム (FIE)

小学5年生以上 9時30分~10時30分 フォイヤーシュタイン教育プログラム

11 時~12時 ソーシャルスキルトレーニング

場 所:大洗町中央公民館(SST:1階 美術工芸室、FIE:2階 視聴覚室)

内 容:フォイヤーシュタイン教育プログラム

ソーシャルスキルトレーニング

(保護者の方は、子どもたちの様子を観ていただきます)

講 師:フォイヤーシュタイン教育プログラム 天田 武志 先生

ソーシャルスキルトレーニング 武藤 幸枝 先生

持ち物:筆記用具、飲み物

*参加費: 小人(一人) 会員 500 円·非会員 1000 円

※新年度になりましたので「NPO 法人こどもの育ちサポートステーション」の会員になっていただける方は、当日入会、 継続の手続きをお願い致します。会費[年会費 3000 円]

*参加対象 普通学校に通い、人とのコミュニケーションがうまくとれなくて困っている児童や、学習につま

づきを感じている児童とその保護者

*申し込み 2017年7月2日(日)までに FAX またはメールで欠席の場合も必ず返信をお願いします。

このプログラムは「2016 年いばらき未来基金 冠助成「花王ハートポケット助成」と
「2017 年中央ろうきん助成プログラム」の助成によい開催するものです

03 0 E	(7月9日)	出席	欠席	(どちら	かにO印)	出席者	大人	名・小人	名
えりがなり 児童氏名				小•中	年	保護者氏名			~~~~
TEL .				連絡の	とれる携帯電	配話			~~~~
E-Mail	***************************************	~~~~~				_ (パソコン	携帯電話)	どちらかにO)

◇申し込み・問い合わせ先: NPO 法人こどもの育ちサポートステーション

FAX 029-267-2957 メールアドレス: kss.ibaraki@gmail.com

*問い合わせ TEL 090 (8806) 4733 (NPO 法人こどもの育ちサポートステーション 代表 大山)





大空小学校がめざすのは、「不登校ゼロ」。ここでは、特別支援教育の対象となる発達障害がある子も、自分の気持ちをう まくコントロールできない子も、みんな同じ教室で学びます。ふつうの公立小学校ですが、開校から6年間、児童と教職員だけ でなく、保護者や地域の人もいっしょになって、誰もが通い続けることができる学校を作りあげてきました。

すぐに教室を飛び出してしまう子も、つい友達に暴力をふるってしまう子も、みんなで見守ります。あるとき、「あの子が行く なら大空には行きたくない」と噂される子が入学しました。「じゃあ、そんな子はどこへ行くの?そんな子が安心して来られるの が地域の学校のはず」と木村泰子校長。やがて彼は、この学び舎で居場所をみつけ、春には卒業式を迎えます。いまでは、他 の学校へ通えなくなった子が次々と大空小学校に転校してくるようになりました。

学校が変われば、地域が変わる。 して、社会が変わっていく

このとりくみは、支援が必要な児童のためだけのものではありません。経験の浅い先生をベテランの 先生たちが見守る。子供たちのどんな状態も、それぞれの個性だと捉える。そのことが、周りの子供たち はもちろん、地域にとっても「自分とは違う隣人」が抱える問題を一人ひとり思いやる力を培っています。

映画は、日々生まれかわるように育っていく子供たちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よろこ び……。そのすべてを絶妙な近さから、ありのままに映していきます。そもそも学びとは何でしょう? そして、あるべき公教育の 姿とは?大空小学校には、そのヒントが溢れています。みなさんも、映画館で「学校参観」してみませんか。

> 驚いた! ここには、ありのままの公立小学校の魅力が、 大胆に惜し気もなく躍動している。 人間が発達可能体であることを、限界なしに教えてくれる。 それにしてもスゴイ記録映画が完成したものである。

学校と教育の未来に、希望が湧く映画である。

平成25年度(第68回) 文化庁芸術祭大賞 受賞理由 他の地域では厄介者扱いされて

いた転校生が、教師と同級生、そ して地域が包み込むことで、素

直で心優しい子供に成長してい

く姿は、見ている者の心を熱くす

る。大空小学校の試みは、上か

らの教育改革とは一線を画す 現場からの教育改革でもある。

尾木直樹 (尾木ママ) 教育評論家/法政大学教授

一緒に学ぶという選択肢を 考えられなかった人たちに、 こんな方法もあるんだということを 知ってほしいと思いました。 20代・女性 (大学院生)

子供たちひとりひとりが能力に応じて大切にされていること、 手がかかる子もかからない子もいるけど平等に愛されてること、 そういう学校が地域の中で理解されて存在していること、 それらのことにとっても感動しました。

細川貂々(漫画家・イラストレーター)

minna-movie.com

2017年7月20日(木) 午後2時開演

場:大洗文化センター 大ホール

主催:大洗ロータリークラブ 協力: NPO 法人こどもの育ちサポートステーション

2016年度いばらき未来基金冠助成プログラム 「花王・ハートポケット倶楽部 地域助成」事業報告書

事業名	双葉台における学習支援プロジェクト						
申請コース	A. 自助グループづくり						
(いずれかに 〇 を記入)	B. セーフティネットづくり						
団体名	学び交流の秘密基地						
実施内容	①双葉台地区での学習支援 第6回学習支援: 2/15(水)~3/2(木)(日曜を除く) 平日 13 時から 19 時まで 土曜 9 時から 18 時まで 内容 1.学習支援 2.居場所づくり 3.進学支援 ②茨城県、県内市町村自治体、NPO等による学習支援・居場所づくり事業 立ち上げおよび学習支援・協力 ③茨城県内学習支援・居場所づくり関係団体の関連事業の情報収集と ネットワークづくり						
申請書に記載した 「目標」に対する実施 「結果」	今回、双葉台での学習支援では、子どもたちの参加人数が最多となることができました。学習支援開催後には、参加者の方々からの電話や手紙が届き、「教わったところがテストに出た」「勉強がたのしくできた」等の声をいただきました。保護者の方々からも、「家でも自主的に勉強するようになり、子どもたちが勉強する習慣を身につけるきっかけとなることができた。」と、学習支援教室以外の場でも、活動の成果が出ているようでした。また、今回は、中学三年生の参加者も多くいました。中には塾に通っていない子もいましたが、高校受験日の直前まで学習支援を開催していたため、最後までその子たちへ受験のサポートをしていくことができました。無事、地元の公立高校に合格した子もいて、彼らの進学へ大きく貢献することができました。						

申請書に記載した 「目的」に対する 「成果」や地域社会 へのインパクト

今回、双葉台地区の市民団体「ぷらっと」様と協力関係を結ぶことができました。子どもたちの参加人数が最多となった要因には、「ぷらっと」様が中心となって、活動の日程等の呼びかけを地域内でしていただいたことが挙げられます。大学生ボランティアが少ない日などには、学習支援に携わっていただくこともあり、地域の方々の活躍の場ともなれたと思います。

また、子どもたち同士で誘い合って参加したり、保護者方たちのなかで 話題となり、そこで当活動のことを知って子どもに参加させたりするなど、 だんだんと地域に根付き、必要性も高まっていると感じています。実際、 次回の開催の日程を確認する連絡もいただいたこともあり、継続した活動 にする必要があるようでした。

申請書に記載した ように、市民の新たな 「居場所」や「出番」 をつくることにつな がりましたか?

学習支援期間中、毎日参加する子どもが何人もいました。日によっては、終了時間まで集中して勉強に取り組む子もいて、時間を延ばすなど柔軟に対応していくこともありました。中には「毎週開催してほしい」という声もあり、子どもたちにとって、安心して勉強ができる居場所になっているという実感がありました。

また、双葉台の地域の方々が、様子を見に来ていただいたり、大学生ボランティアが足りない時にお手伝いしていただいたりするなど、地域の方々の新たな社会貢献の場ともなれたと思います。

事業実施後の展望や 新たに見えてきた 地域課題

子どもたちの保護者の方が様子を見に来てくれることも多く、その方たちにも学習支援活動に参加してもらえないかと思案しています。また、子どもの学習について、不安に思う保護者の方とも出会い、そのような方々へのフォローできることがないか考えています。

また、対象児童が中学生まででしたが、今年、高校に入学する子たちへ も継続した支援が必要であると感じ、対象年齢についてもう一度考えてい く必要があると思っています。

花王・ハートポケット 倶楽部へ一言

御倶楽部の会員の方々からいただいたメッセージは、心温められると共に、自分たちの活動は社会にとって必要なものなのだと、改めて活動に対しての自信と誇りをもつことができました。おかげさまで、今回の活動では、多くの子どもたちの将来の可能性を伸ばす一役を担うことができ、地域の方々からもたくさんの手助けをいただけるようになりました。こんなにも有意義な活動となることができたのは、御倶楽部の方々からの支援があったからこそです。本当にありがとうございました。

自己評価

B. ほぼ目標どおりの結果となった

(いずれかに 〇 を記入)

A. 目標を超える成果を得ることができた

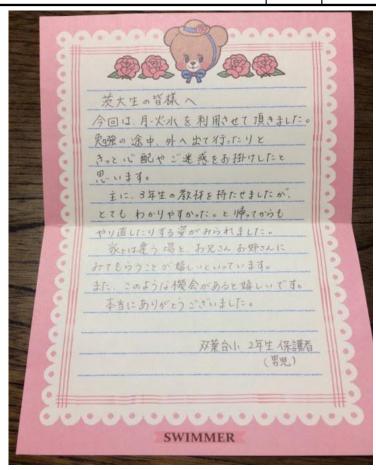
- C. 残念ながら目標を達成できなかった
- D. その他(

)

2016年度いばらき未来基金冠助成プログラム「花王・ハートポケット倶楽部地域助成」決算書

事業名:双葉台における学習支援プロジェクト

区分		科目	内容	単価	×	人数• 回数	=	金額	計	うち助成金 うち自己資 充当額 金充当額	
収益	受取助成金等		地域助成	¥150,000	×	1 式	=	¥150,000	¥150,000		
	自主財源	受取会費	賛助会員会費	¥0	×	0 人	=	¥0			
		受取寄附金		¥0	×	0 人	=	¥0	¥0		
		事業収益	参加費	¥0	×	0 人	=	¥0			
	経常収益計							¥150,000	¥150,000		
費用	地代家賃		教室	¥1,000	×	13 回	=	¥13,000	¥13,000	¥13,000	¥0
	交通費		参加者	¥50	×	1546 km	II	¥77,300	¥77,300	¥76,935	¥365
	ボランティア保険		ボランティア行事保険(A1プラ ン)	¥840	×	14 日	Ш	¥11,760	¥11,760	¥11,760	¥0
	書籍代		参考書など	¥39,495	×	1 式	Ш	¥39,495	¥39,495	¥39,495	¥0
	消耗品費		事務用品・お菓子など	¥8,810	×	1 式		¥8,810	¥8,810	¥8,810	¥0
	経常費用計							¥150,365	¥150,365	¥150,000	¥365
当期経常 増減額								¥-365	¥-365		

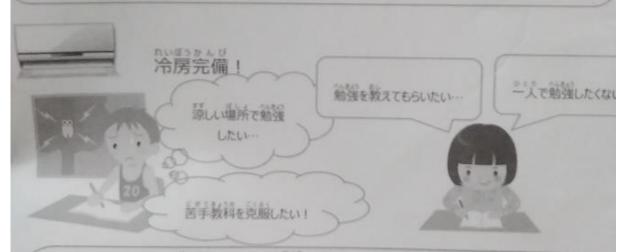


まな こうりゅう ひみっき ち 学びと交流の秘密基地

日にち:8月17日(木)~8月28日(月)(日曜日は除く)

時間:13:30~18:30

場所:水戸市双葉台2-1-1オハナコート旧常陽銀行跡地2階



そんな悩みを茨大生がお手伝い!

宿題、勉強道具を持って集まれ!!

無料で勉強サポート&学習相談にものります!!(高校生も O.K)また、お母さん・お父さん方からの相談も教室で受け付けております!

ex)塾はいつから行かせればいいの?英会話塾は行かせるべき?受験に関する疑問、奨学金の相談など

※進路・奨学金等の情報提供、個別相談あり

お問い合わせ先:学びと交流の秘密基地(茨城大学学生団体)

学生代表:高橋大貴·高松耖梨奈

メール:roukel.ibodai@gmail.com 電話:090-9327-7837 主催:茨城大学人文社会科学部法律経済学科労働経済論ゼミ

後援: 水戸市教育委員会。茨城 NPO センター・コモンズ、株式会社ゴールデンハーベスト、水戸市立双葉台小・中学校